

# 使い続けることも身近な “環境にやさしい”トイレット

# エコ活動 ペーパー

# 大阪唯一。100%リサイクルの 家庭紙を作っています



組合員の声から生まれた「CO・OPコアノンロール」は、今年で産業古紙を中心に、組合員から回収したチラシや牛乳パックなどがなくゴミもでません。環境や品質向上に挑戦している株式会社

発売40周年を迎えます。原料はも利用した再生紙100%。紙芯リバーズをご案内します。

大阪府泉南市にある株式会社リバーズは、トイレットペーパーの製造元として平成14年に創業しました。社名リバーズ (Rebirth) は、“再生”と“誕生”という意味を込めた造語です。「限りある資源を最大限に活かす」ことを目標に、使わなくなった古紙やこれまで再生が困難だった古紙も原料とする100%リサイクルの家庭紙メーカーです。大阪を中心に古紙を回収し、月間約1,600トンのトイレットペーパーを製造しています。大阪泉南地域の“豊富な地下水”で生産していることが、良品質のポイントです。



工場の入口には原料の古紙が。



## 古紙からトイレットペーパーができるまで

紙ごみから  
溶解

熟成

紙すき

加工

製品



1

古紙や紙パックの溶解



原料を大きなミキサーでこなごなにして溶かす。

2

熟成タワー



溶解した古紙原料を巨大なタワーで8~10時間熟成。

3

抄紙(紙すき)



離解と洗浄を繰り返し、精選された原料を使い、紙をすき、巻き取る。

6

検品・箱詰め



包装された「コアノン」を検品し、その後箱詰め。

4

加工(巻き取り)



ジャンボロールをコアノンの長さ(130m)に巻き取りながら、やわらか加工。

5

加工(カット)



コアノンの紙幅105mmに断裁。



見てきたで〜♪

げんたん原反ジャンボロールという「コアノン」の原紙。

## 水のリサイクルは、再生紙づくりの重要な工程



きれいな水で金魚も快適!

紙づくりは水をたくさん使います。古紙から1トンの紙をつくるのに、一般的には100トンの水をつかうとも言われています。泉南地域は水に恵まれ、同工場は地下水を活用。大阪府が定める基準を満たし“きれいな水”にして川に戻そうと最先端の排水処理施設をそなえています。

## 組合員に支持される「CO-OPコアノンロール」ぜひ使ってみてね!!

紙幅が通常のロールよりも約9mm小さく、12ロール使うと1ロール分の資源節約に



株式会社リバーズ 泉南市 五十樓 義人さん

スマイルスクールプロジェクト実施中!  
「CO・OPコアノンシリーズ」を1パックお買い上げにつき1円、ユニセフを通してアンゴラ共和国の子どもたちの学校づくりの支援金になります。



【泉州こぼればなし】  
和泉山脈から水の恵みを受けた大地

大阪の南には『和泉市』『泉佐野市』『泉大津市』『泉南市』大阪府と和歌山県を隔てる『和泉山脈』が、紀見峠から西へ、つらね、紀淡海峡まで続いています。その山脈から伏流水やその豊富で良質な水で、酒蔵や泉州タオル(日本3大タオル)

と『泉』がつく地名が多くあります。岩涌山、槇尾山、和泉葛城山の山々が地下水が生まれ、海まで流れています。などの産業が栄えました。